

オ 平成24年度親支援モデル施設育成事業（埼玉県指定）

(ア) 研究主題

幼稚園における親の養育力向上をめざして～親の学びを通して園と家庭の絆を深める～

(イ) 研究の概要

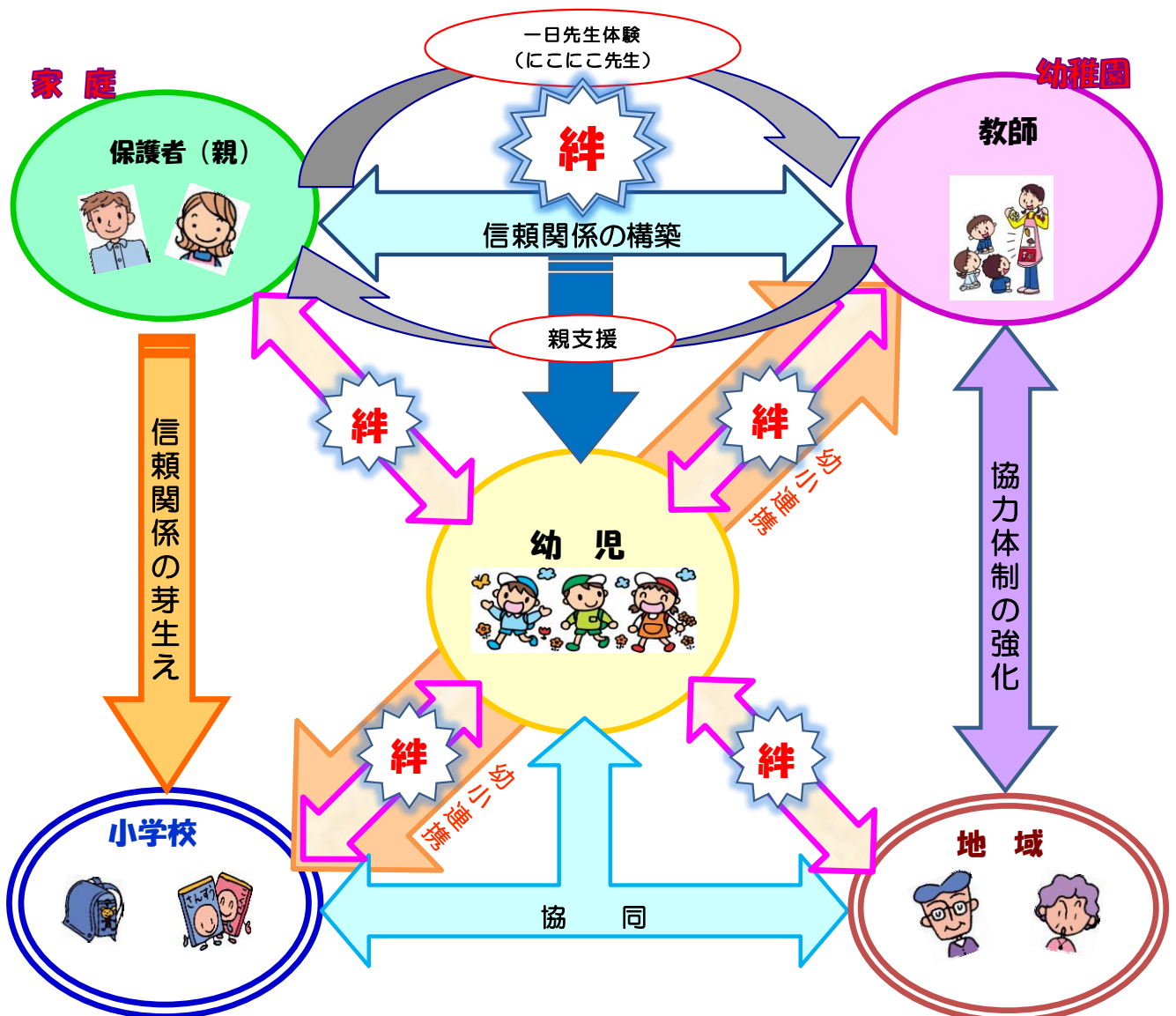
a 研究の仮説

【仮説1】保護者（親）が、園の「一日先生」として、登園から降園までの一日を園児とともに過ごすことで、幼児期の発達の特徴を知ることができ、幼稚園に対しての理解が深まり、信頼関係が構築される。

【仮説2】保護者（親）が、実際にそばで教師の援助やかかわる様子を見たり、多様な幼児と触れ合ったり、遊んだりしながら、親心が育まれていく。

このように幼児を中心にした幼稚園と家庭の共通理解のもとで、両者の間に新たな絆が生まれ、さらには、親と子・教師と幼児の間の絆も深まっていくだろう。そして、幼児を取り巻く幼稚園・家庭・小学校・地域が一体となって幼児を育てていくことで、教育力向上や生きる力の育成につながっていくであろう。

b 全体構想



c 具体的な取組 資料 2 1

(a) にこにこ先生体験（一日先生体験）

(b) 各種園行事への参加や手伝い

(ウ) 保護者の感想

○一日先生体験は初めてのことで楽しみな気持ちと少し不安もあったのですが、子供たちから「先生！」と話しかけてきてくれてとても楽しく過ごすことができました。子供たちと先生の遊ぶ姿を見ていて遊ぶ時は大人も一緒になって楽しむことで子供たちももっと楽しく遊ぶことができるんだなと感じました。今回参加してみて、先生たちの大変さや子供たちのかわいらしさを感じることができ、とてもいい経験になりました。今日は一日お世話になり、ありがとうございました。

○まず、楽しかったです！動物づくりでトラ班は看板作りと餌作りに何となく分かれていたけれど、なかなか餌作りが進まず、先生に相談したら「こうしたい」「ああしたい」とアイデアが出て「さすが先生！」と思いました。また一緒に作っていた普段からおとなしい〇〇ちゃんがたくさん話しかけてくれて嬉しかったです。改めて先生方のおとなしい〇〇ちゃんへの接し方が分かりました。毎日毎日大変だと思いますがこれからもお願いします。

○一日の活動として年長組合同の動物園ごっこの製作でしたが、考えを出し合っている姿、一つの作業を黙々とこなしていく姿など普段では見られない真剣な顔をした子供たちを見て、5、6歳児の成長がとても大きなものと感じられました。一日を通して子供たちの笑顔と真剣に取り組む姿が印象的でした。また、今日の経験から普段の生活での我が子との向き合い方が変わってきました。このような機会を与えてくださりありがとうございました。とても楽しく育児の参考にもなりました。

(エ) 成果と課題

a 成果

○保護者が、主体的に保育に参加することで、子供たちの育ちを直に感じ取ったり、「〇〇先生！」と幼児から慕われ、保育する喜びを感じたりしたこと、教師と親が園の教育について共有することができた。

○保護者は、教師が幼児と生活する姿を見たり、けんかの仲裁や遊びを進めていく様子を見たりして、自分の子供に対しての関わり方や見方に変化が見られ、教師と保護者が同じ視点で幼児を育てていく手立てとなり、信頼関係がさらに深まった。

○保護者が、教師の補助として保育に参加する中で、得意なことを披露したり、幼児と関わったりしている姿から、両者の距離が縮まり、お互いの理解につながった。

○回を重ねるごとに、幼児も「にこにこ先生」に対して期待して楽しみに待つようになっており、幼児が様々な人と交流するよい機会になった。

b 課題

○幼児や園への一層の理解が図れるように内容をさらに充実させ、継続して取り組む。

○父親の参加を促すために日程や募集方法などを工夫する。

○園の通信などで、取組の様子や感想を載せ、保護者への感謝の意を伝える。

○今後もこの活動を保育園（所）・小学校・地域に発信し、子育ての支援につながるよう、幼児教育の充実を図っていく。